

としはる通信

2007.3

No. 19

編集、発行
川村俊治
〒258-0111
山北町向原
17-10
75-0928
E-Mail
t-kawamu@mv
d.biglobe.ne.jp



いっあい

いっになく暖かかった冬も終わり、桜の開花予想とともに、春はもうそこまでやってきているように感じられます。旅立ちの季節を迎え、新しい門出に就かれる方々には、希望への着実な前進をお祈りいたします。

さて、3月6日から14日までの9日間、平成19年山北町議会第1回定例会が開催されました。主な議題は瀬戸町長による初の予算編成で、平成19年度一般会計、9特別会計及び水道事業会計の予算審議でした。

一般質問

高松地区畜産団地構想の
対外折衝状況を問う

質問 高松地区畜産団地整備構想は、昨年12月の私の質問に対し、実現に向け全力で推進するとの答弁をいただいた。町長に就任されてからどのように取り組み、現状の見通しはどうか。

答弁 中山間保全整備事業基本調査は関係農政局と取りまとめており、3月中旬に検討委員会を開きます。農業生産法人の主体となる企業との調整にも積極的に取り組んでおり、19年度に方向性を出します。

質問 このような大きな事業は町長が先頭に立って営業活動をする必要があると思うが、私が質問した12月までにどのような動きをしたか。事業者とは順調に推移したか。

答弁 10月に事業主体となる会社と庁舎内で会った。考え方、収支計画、事業規模が出ていない。など



川村としはる
(俊治)



高松山七曲付近へのさくらの植栽風景(3月10日)

他にも疑問点を質したのに対し、意外な受け止め方をされ、感情的な違いが生じた。先般、消極的であった相手に意図をよく説明した。

質問 意外な受け止め方とは具体的にどのような言われたのか。今後の交渉において不利にならないか。

答弁 辞退したいということですが、修復していきたい。

質問 私の12月の質問の前に辞退したいという返事があったのに、なぜ全力で取り組むといったのか。

答弁 事業の推進には問題ない。修復する前提であるから、交渉で不利になることはありません。

小学校終了まで無料

医療費で町独自事業

小児医療費の助成に関する条例が改正されました。18年度には満5歳まで引き上げられた助成が、平成19年度からは小学校終了までに延長されます。これは山北町独自の政策で、この事業による財政負担は1800万円の増加が見込まれますが、対象者1161人と想定される子どもの親にとっては朗報であると考えます。県内33団体の医療費助成の状況は中井町が小学校6年まで、箱根町が4年までで、大半の自治体は小学校就学前までです。

平成19年度における近隣市町の取り組みは、南足柄市が4歳を就学前までに、大井町が5歳まで、松田町が2歳を就学前までに改正します。質疑では、昨年も助成年齢を延長した、中井、箱根は財政力が強く地方交付税不交付団体であるが、山北町は地方交付税に依存している財政負担、近隣市町とのバランスも考え、小学校3年までと、段階的に、財政負担が増える中、実施に当たっては他の事業を削って費用を捻出すべきだ。などの意見がありました。採決の結果、賛成多数で可決しました。(賛成9、反対0)

平成19年度当初予算

一般会計は49億7661万円

前年度比10.8%増

平成19年度当初予算は一般会計49億7661万円となりました(前年度比10.8%増)。9特別会計37億758万円、及び水道事業会計2億6666万円を含めた総額では89億5086万円となり、前年度比7.3%増となっています。

予算編成の基本方針として示された項目の概要は次の通りです。

財源の重点配分 第4次総合計画の実現 第5次行政改革大綱の実施 町単独事業は原則として着手しない 住民要望は町民が主体となつて実施するものと町が実施するものの役割分担をする ・対前年度比15%マイナスイーリングでの予算編成。

歳入は、町税が住民税の税率一律10%化(三位一体改革の税源移譲による)により1億9857万円増収となりますが前年度までであった地方譲与税9920万円の廃止、地方特例交付金4215万円の減額、地方交付税1900万円

が減額され、差し引きの増加は3822万円となります。

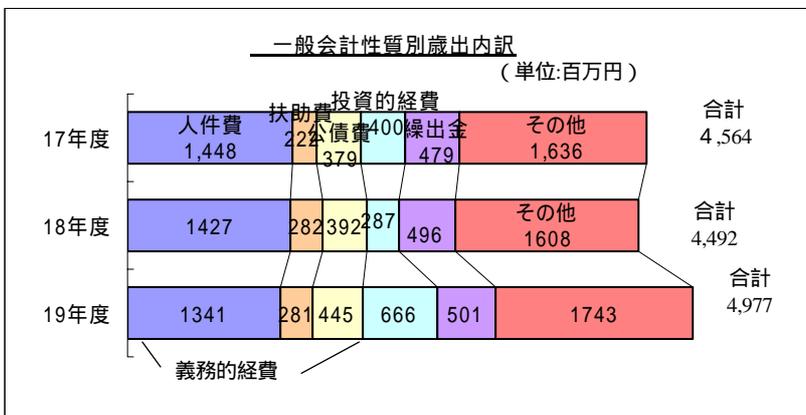
国の補助金ではまちづくり交付金が1億5220万円となり大幅に増収、県補助金では水源環境保全・再生交付金が7000万円、中山間地域総合整備事業補助金の1億1250万円などで大幅増となりました。町債(借入)は3億5490万円で前年度比7850万円の増加となりました。また、財政調整基金(町貯金)2億1000万円を繰り入れての予算編成となっています。

歳出では重点施策を設定し、総額20億1313万円を投入します。主な事業として 町内循環バス運行事業、小児医療費を町独自事業として小学校終了まで助成、山北中学校校舎等(トイレを含む)改修、デジタル地域防災無線ネットワークシステムの導入、ダム集水域合併浄化槽整備推進、日向用水路農道整備、浅間山農道整備、神奈川県後期高齢者医療広域連合運営事業などが行われます。

額は小さいですが、まちづくり懇話会推進、町民健康マイスター講座開催が新規事業として計画されています。また、山北中学校、三保中学校のパソコン機器が新しく整備されます。一般会計の性質別歳出入訳をグラフに示します。

町長、予算案を撤回 修正再提出により議決

予算審議の過程で鶴野集会所施設改修補助金の案件に対し、当該施設、鶴野観音堂は宗教施設であり、政教分離を定めた憲法に違反する。議会がこれを承認すれば、住民訴訟が起きた時には議会も責任を問われるので、違法性がないことが証明できる資料の提出を求めました。町長は資料の提出を約束しましたが提出することが



できず、討論の直後採決を残すだけになった段階で突如予算案を撤回しました。 議会では長時間をかけて審議してきた。ここで撤回を認めればこれまでの審議の意味がない。議会軽視ではないか。可決されれば実行し、否決されれば臨時議会を開いて再提出するの筋。との意見を述べましたが、賛成多数(対8)で撤回が認められました。 この後、鶴野観音堂の改修補助金を削除した予算案が新たに提案され賛成多数で可決されました。

討論

予算案撤回の直前には反対、賛成の討論が行われました。 反対討論の概要は 15%マイナスイーリングの予算方針と予算案10.8%増の整合性がない。 5億7000万円の財政調整基金を2億1000万円も取り崩してまで突出した医療費助成をするのはどうか。 3年生までにして段階的に 鶴野観音堂に公金をつぎ込むのは憲法違反である。 というものです。 賛成討論は鶴野観音堂の改修に公金をつぎ込むことには反対だが予算案には賛成という矛盾した考えです。 討論の後、本来であれば採決が行われますが、この時点で町長から予算案撤回の申し出がありました。